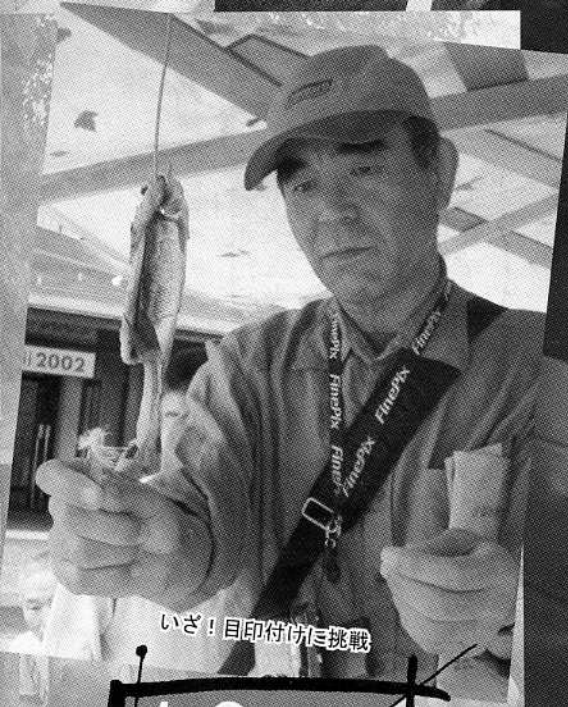
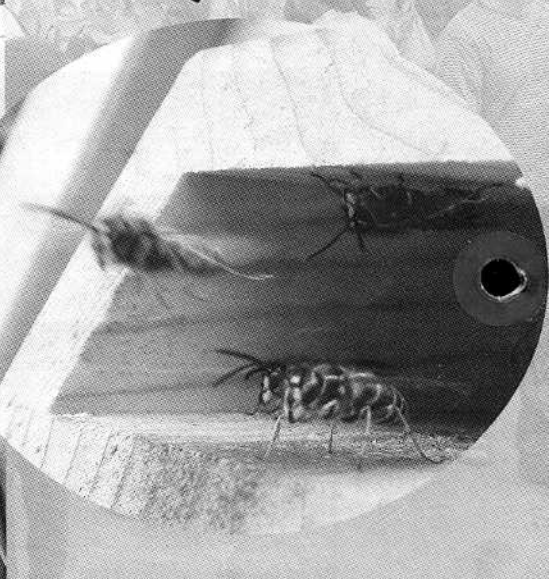


広報

ひかしらか



「おお、中が見えるぞ」と巣箱の中に興味津々



いざ！目印付けに挑戦



蜂に付ける目印の説明に聴き入る参加者たち

10

No.

496

2002

蜂以友会（蜂を以って友に会う） 蜂以和楽（蜂を以って和み楽しむ）

9月29日、本村で全国地蜂サミット東白川2002が開催され、全国から集った地蜂愛好家たちは、情報交換をはじめとする“蜂談義”に花を咲かせていました。（関連記事7頁に掲載）

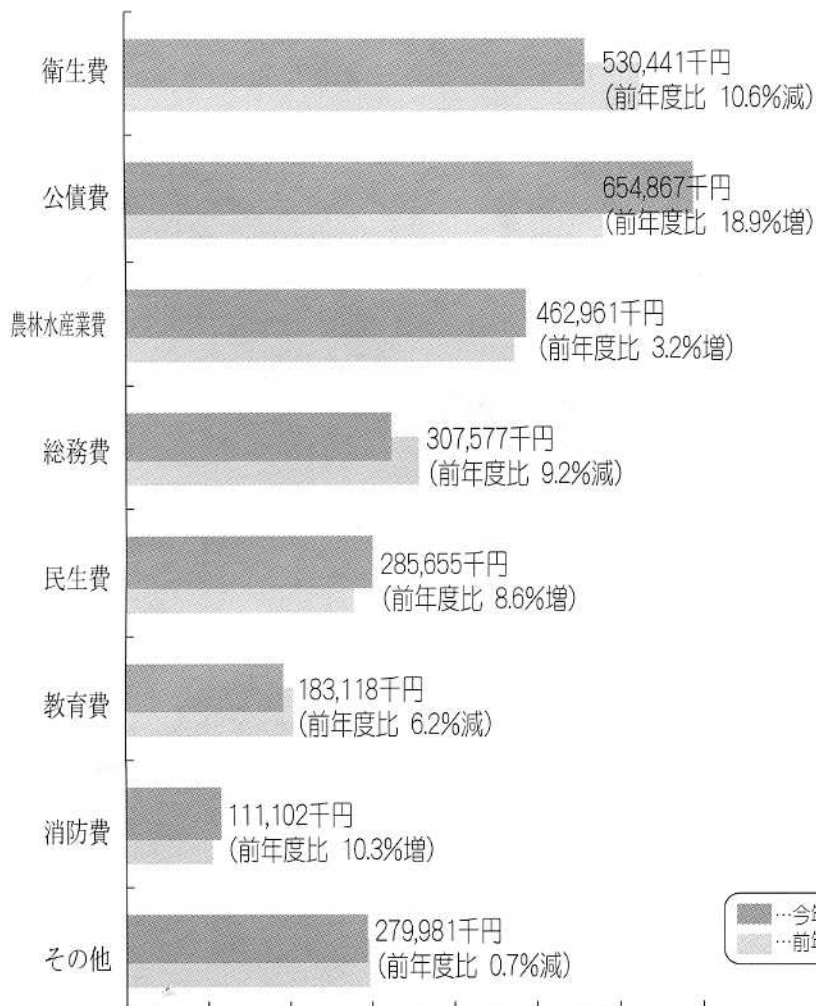
5,199万円

村の家計簿

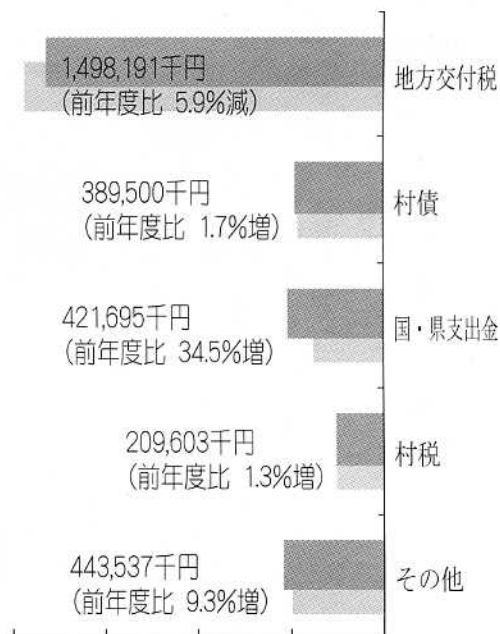
平成13年度決算の概略

9月18日の議会定例会において、平成13年度一般会計及び特別会計の決算の認定を受けましたので、決算状況についてお知らせします。

歳出 2,815,702千円



歳入 2,962,526千円



一般会計

平成十三年度の一般会計は、当初予算に病院会計補助金、空家住宅対策事業、エコトピア住宅使用料、繰越明許費など年度中途の補正を加えた最終予算総額は三十億五千三百九十三万九千円となりました。

決算額では、歳入歳出差引残高から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支（純繰越金）は、前年度より若干多い一億二千九百五十一万二千円となりました。

歳入では、収入額の50%を占める地方交付税が前年度比5・9%減となるもの、林業構造改善事業などの県補助事業が前年度比40・7%増加したことで、歳入全体では2・1%の増となりました。

歳出では、公有林整備債の借り換えなどにより公債費が一億四百万円の増加となるものの、衛生費のうち簡易水道・下水道特別会計への繰出金や病院出資が減少したことにより歳出全体では1・6%の微増となりました。

また、本年度の主なハード事業

支出決算額は

43億

	歳 入	歳 出
分収造林費特別会計	1,725千円	1,286千円
有線放送電話特別会計	25,281千円	22,724千円
国民健康保険特別会計	303,661千円	229,689千円
老人保健特別会計	398,258千円	382,556千円
介護保険特別会計	154,010千円	143,196千円
介護保険サービス事業特別会計	57,501千円	53,100千円
簡易水道特別会計	698,066千円	669,895千円
下水道特別会計	16,350千円	12,717千円
豊かな集落づくり特別会計	38,001千円	21,122千円
計	1,692,853千円	1,536,285千円

は、茶の里野菜村建設、プレカット施設整備補助、フラットハイム建設、五加住宅改築、空家住宅活用事業、五加コミュニティ消防センター建設、合併処理浄化槽設置補助、防災環境対策間伐実施事業などです。

特別会計

【分収造林費特別会計】

前年度に引き続き造林事業補助金を受けて、水源の森で十二・七ヘクタールの下刈りを行いました。

【有線放送電話特別会計】

有線施設支障移転工事や倉庫屋根修繕工事、情報化基本計画策定などを行いました。また、本年度も一般会計からの繰入を行わず、使用料や負担金で決算し、翌年度へ二百五十五万七千円を繰り越しています。

【国民健康保険特別会計】

事業全体の約39%が保険料で賄われている会計で、収入額は、ほぼ前年並み。歳出では、全体の64%を占める保険給付費が前年度比13%の減。老人保健拠出金におい

ても前年度比18%の減となりました。

【老人保健特別会計】

約七百人を対象とする本会計の歳出決算は、前年度精算償還金の減と、医療諸費の徴減により前年度比2・1%減となり、千五百七十万二千円を翌年度へ繰り越しています。

【介護保険特別会計】

年度末の要介護認定者は、前年度から三十人増の百二十四人となり、前年度と比較して保険給付費は30・4%、歳出全体でも38・8%増加しました。また、介護保険円滑導入基金は本年度で取り崩しをし、介護保険料の軽減をしました。

【介護保険サービス事業特別会計】

この特別会計は、介護保険の訪問介護及び通所介護について村が指定業者となり社会福祉協議会へ委託しているもの。訪問介護派遣通所介護ともに当初予算を上回り、歳出決算額は19・6%の増。また、四百四十万一千円を翌年度へ繰り越しています。

【簡易水道特別会計】

東白川簡易水道区域拡張事業により、曲坂、中通、神付、加舎尾、中谷地区の大部分への配水が完了。また、水道基金を積み立てました。

【下水道特別会計】

宮代、平西、平東の小規模集合排水処理施設の維持管理と、平成十四年度に平中地区の施設整備に向け設計委託業務を実施。また、下水道基金を新設し将来に備えました。

【豊かな集落づくり特別会計】

中山間地域直接支払交付金制度を有効に活用するため設置した特別会計で、集落へ交付する交付金と(有)新世紀工房へ交付する委託料の二本立てにより活用。また、千六百八十七万九千円を翌年度へ繰り越しています。

村民1人当たりの村税負担額は
約67,375円

	村民税:::23,024円
	固定資産税::39,401円
	村たばこ税:::3,034円
	軽自動車税:::1,862円
	特別土地保有税::54円

(平成14年3月末現在の人口3,111人で算出)

東海地震想定東白川村総合防災訓練 その結果

資料

参加者内訳

役場職員（本部）	67人
防災対策監	1人
駐在警察官	1人
自主防災会	1,481人
消防団出動	105人
計	1,655人 (全村53%)

自主防災会参加実績

防災会	参加人数(率)
大口	35 (70%)
平	250 (53%)
下親田	59 (45%)
上親田	64 (40%)
中通	62 (49%)
神付	79 (50%)
中谷	33 (42%)
加舎尾	40 (61%)
西洞	62 (43%)
曲坂	58 (51%)
日向	160 (69%)
陰地	80 (24%)
栃山	30 (44%)
黒淵	70 (44%)
大明神	116 (43%)
柏本	86 (44%)
宮代	43 (57%)
大沢	83 (58%)
下野	43 (49%)
久須見	28 (70%)
計	1,481 (48%)

警戒宣言時の

自主避難希望調査結果

全世帯の**33%**が
自主避難を希望
避難希望の多い集落は
平、中通、日向、柏本

非常食の注文状況

ご飯もの	900食
パン	230食
缶詰セット	850食
計	1,980食
飲料水	363リットル

9月1日に東海地震を想定して行われた東白川村総合防災訓練。これは、総勢1,655人の参加による大規模な訓練であるとともに、避難訓練や消火活動など各地域の自主的な活動が盛り込まれた今までにない防災訓練となりました。

そこで、今回の訓練について、対策本部・各自主防災会の訓練結果をお知らせします。

自主防災会会長の

うちの集落は
こうやったぜ

■非常食の注文が多かったことから、防災に対する関心の高さを感じた。

■秋フェスタなどで、地震体験車による「地震」を体験できると良いと思う。

■システム化に対する脚本のある訓練だったため、本当の意味での訓練になった

のかは疑問。しかし、防災に対する啓蒙にはなったと思う。

■消火栓ボックス内のホースを二重巻からシマ折りへと巻き替え、簡単に使えるようにした。

■今回の訓練で防災について再認識。家具の転倒防止についてわかりやすく教えてほしい。

■訓練時間に余裕がない。知識を得る機会としてもっとキッチリ教えてほしかった。

■「非常食は美味しくないから必要ない」との認識が、実際に食べてみることで「これなら食べたい」と変わったようで、非常食購入へと繋がっているようである。

■班別一時避難所に、徒歩での招集をお願いしたところ、10分程で多くの人が集まることが確認できた。

■女性やお年寄りを中心に消火器を使った消火訓練を行ったが、「見ると触るとでは、だいぶ違う」と再認識。

■無線機の使い方をもっと詳しく教えてほしい。

■有線放送の外部スピーカーが各集落に1つでもあると良いのでは。

■防災に関する連絡網を再確認できた。

■お年寄りの参加が少なかったことは残念。

■水出し訓練を女性中心に行ったが、水圧の強さに驚いた様子。貴重な経験になったのでは。

■避難場所となる集会所は、場所的に安全とはいえない。それらのことを参加者で確認し、別の場所を避難場所とするよう確認ができた。

■多くの人が集まったが、警戒宣言発令30分前にほとんどの人が集合。これでいいのか。

■村からの啓蒙資料を参考に、重要と思われるポイントを押さえた資料を作成し、参加者に配布した。

■集落内の消防団員が少なく、災害時に対応できるか不安。誰もが対応できるように改善していきたい。

■今回の訓練で現在の防災無線機器を不便に感じた。アマチュア無線などが有効活用できないものか。

夏の思い出・作品展

「恐竜ランド」



1年＝田口昌広くん（平）

「貝殻と卵の殻で作った絵」



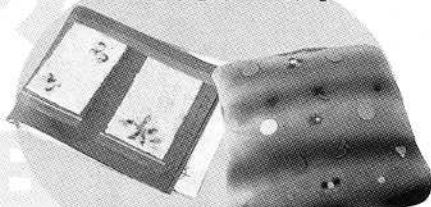
1年＝田口友里江さん（柏本）

「押し花」



2年＝松岡佑佳さん（陰地）

「ハガキとクッション」



3年＝荻田夏都子さん（曲坂）

「光る蛍の貯金箱」



3年＝今井晶恒くん（大沢）

「ペンションの貯金箱」



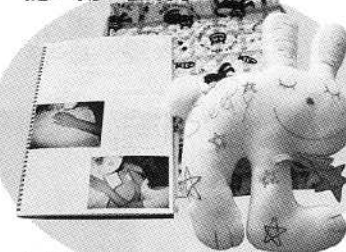
2年＝田口丈一郎くん（西洞）

5年＝桂川晋くん（大明神）



「時計の飾り物」

「縫い物の世界」



4年＝古田真由実さん（柏本）

「ビー玉転がし」



4年＝安江貴正くん（神付）

「クッション作り」



5年＝古田ひろさん（久須見）

「バリアフリーについて」



6年＝桂川祥さん（枋山）

「ベンチ」



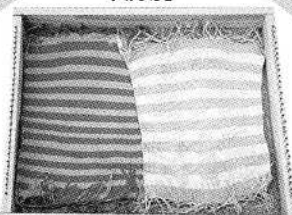
6年＝額綱信二くん（柏本）

「将棋作り」



1年＝安江孝予くん（宮代）

「織物」



2年＝安江美樹さん（曲坂）

「水車小屋」



3年＝荻田翼くん（陰地）

「枕カバー・クッション」



5年＝今井由実さん（中通）

「折りたたみ椅子」



2年＝田口奈佑くん（平）

「リサイクル・バック」



3年＝大坪友里江さん（上親田）

▲ 東白川小学校

東白川中学校 ▼



できごと事情

父親の勉強会。父親フォーラム開催

が行われ、スポーツ・文化活動を通じての子どもたちとの関わりや、子どもに関心を持つことの大切さなどについて意見が交わされました。また、ディスカッション後には分散会が行われ「祖父母に子育てを助けてもらうことで、より温かい家庭環境で子どもを育てることができるんですね」「学校の役員に選ばれた時は、子どもとの接点を増やすためのチャンスだと考えていけば…」など、参加者が自らの家庭教育を振り返るような意見交換が行われました。



▲意見の飛び交う分散会のようす

九月三日、はなのみき別館で『父親フォーラム』が行われ、乳幼児期の子どもを持つ父親など約五十人が参加しました。フォーラムでは、近隣町村在住の四人(安江一成さん・東白川村、長尾憲幸さん・白川町、小島一彦さん・富加町、馬場嘉紀さん・川辺町)と安江村長によるパネルディスカッション

住みやすい村に…定住者サミット開催

でみたい」と思える村づくりのために行われたもので、サミットの中では「裏山から水を引き、拾ってきた木を焚き木にする。そんな自然を活用した生活に手応えを感じています」「環境がいいです。私にとって魅力にあふれてます」と、村の「良さ」について意見があるものの、「身近なゴミ問題について徹底されていない：悲しいですね」「恵まれた自然環境「当たり前」という考えではいけない：自然を大切にしよう」が再認識する必要がある」との辛口な意見も。これらの声を元に、更なる村の発展に期待が集まります。



▲意見発表をする坂井さん

都会から本村に移住されている方々を対象とした『東白川村定住者サミット』が九月八日、はなのみき別館で開催され、関係者約七十人が出席しました。これは、田舎への憧れや、本村の人口対策事業をきっかけに移住された方々の意見を聞くことで、より住みやすく、より多くの人が「住ん

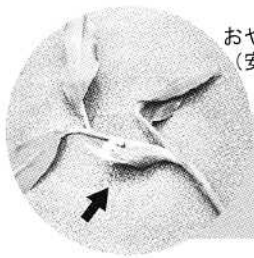
「地震だあ!!」園児らが震度7を体験

地震体験車に乗り、震度二〜七までの日常生活にはない「揺れ」を体験。車から降りる園児からは「怖いって言うより面白い」「もう一回やりたい」と、少しマト外れな声があるものの、消防署職員に「地震の時、どうしてガスを切らなければいけないの?」「なんで地震が起こるの?」と問いかける場面も。また、参加した保護者からは「体験車ってわかってるから怖くなかったけど、これが本当の地震だったら：怖い!その時、もし火を使っていたとしたら：」と。東海地震に備える意味でも大切な経験となったようです。



▲震度七。親は真剣、園児は…

九月十九日、村内の保育園と小中学校で、それぞれに防災訓練が行われ、その中で東消防署からの職員二人と地震体験車「らいちやま号」の協力による「地震体験」が行われました。うち、二つの保育園では園児や保護者たちが



おや？茎から顔を出したミョウガの芽
(安江タツエさん・黒瀬)

つちのこ村の

故郷に緑を。善意の植樹

▶ 苗木を植える会員ら



「東白川村に緑を送ろう」と集められた東京東白川クラブ員四十五人からの寄付八万六千円により、九月十五日、会員代表の手で曲坂地内の村有林に十本のケヤキが植えられました。

祝☆村長が高齢者訪問



◀ 元氣印の八十八歳!! 今井みつさん

九月は敬老の月。今年も九月九日、村長の高齢者訪問が行われ、数え年八十八歳の方十一人と数え年九十五歳以上の方十七人の自宅を尋ねました。訪問先では「いつも（手押し）車を押して歩いとるよ」など、その元氣ぶりを村長に話されるお年寄りの姿がありました。

また、現在村に住む九十五歳以上の方は二十一人で、村内最高齢は、明治三十七年生まれ、九十八歳になられる安江みつるさん（平）です。

敬老の日、村内行事に村民奮闘

掛け声やおひねりが飛んでいました。



▶ 「青砥稿花紅彩画」の一場面

の玉入れや輪投げといった軽スポーツや、この日に向けて練習を重ねてきたクラブ単位での演芸発表などが行われ、会場にはハッラツとした参加者らの笑顔があふれていました。

また、同日、はなのき会館を会場に第二十六回東白川村郷土歌舞伎公演が開催され、村内外から約六百人が訪れました。今回公演された五外題のうち、「取り」を務めたのは西洞地区の代表十一名による青砥稿花紅彩画。身近な名役者の演技に会場からは、



◀ 「それっ」輪投げに挑戦

敬老の日となる九月十五日、東白川村老人クラブ連合会と村が主催する「第二十八回老人まつり」が行われ、村内の老人クラブ員など約三百人が中学校体育館に集いました。まつりでは、クラブ対抗

地蜂愛好家が集結！全国地蜂サミット開催

ました。が、どちらの発表も本格的で、趣味の枠を超えるほどの充実ぶり。

屋外発表では、会員が実際に飼育している地蜂の巣を持ち寄って展示するほか、二百mほど離れた地点から目印を付けた蜂を放し、巣箱までを追跡する「蜂追ひ」の実演などが行われました。また、屋内では、自研究会の取り組みや、それらの実例からの反省点、改善点などについて会員による発表が行われました。参加者からは「皆さんの熱心さには脱帽です！良い刺激になりました」との声も。夢中になることの素晴らしさを感じるサミットとなりました。



◀ 館内での事例発表の様子

九月二十九日、全国地蜂サミット東白川2002が東白川タカブ研究会の主催で行われ、はなのき会館には、全国から二十二団体、約四百五十人の地蜂（クロスズメバチ）愛好家が集いました。本サミットは、屋外と屋内の二箇所での事例発表を中心に行われ

「新着メールがあります」



「歌舞伎を体験して」

東白川中学校教諭 藤井秀人



今回、歌舞伎という貴重な体験をさせていただいたことに大変感謝しています。小学生の頃に「白波五人男」の舞台を経験し、いつかまた出演する機会があればよいと考えておりましたところ、東白川歌舞伎保存会の方々に温かく迎えて頂き、実現する事ができました。約二ヶ月団升先生御夫妻の熱心なご指導のもと稽古がありました。真剣に稽古に取り組まれ役になりきっておられる役者の方々の姿に感心しました。さらに本番では大道具や衣装などの多くの方々のお力があった一つ一つの演題が完成していくのを目の当たりにして感動しました。また、お客さんあつての舞台であることを改めて実感致しました。稽古では予想しなかったお客さんの声援、反応があつて演じる側としてやる気が出ました。舞台終了後、たくさんの方に声をかけて頂き、やってよかったと思いました。

東白川村の歌舞伎の一員として参加させて頂いたことで、改めてよき伝統を受け継ぐ事の大切さや、大変さを知ることができたように思います。微力ながら貢献できたらよいと思います。そして自分の町でも演じさせて頂けたらよいと願っています。

東白川村の皆様、ありがとうございました。

わが家のスターは ☆満1歳☆



ゆいと
土井唯斗ちゃん
(宏治さん・佐知子さん=平)



あゆ
安江亜優ちゃん
(昌博さん・昌子さん=曲坂)



かいて
古田 楓ちゃん
(康二さん・奈美さん=平)



ひろのり
大坪宏至ちゃん
(行洋さん・伸江さん=平)

このコーナーの子どもたちはみな同い年。10年後、20年後「広報」を見ればホラ！1歳のあの子の顔が…

かっせや

…みんなの広場…



▼安江絵美さん
(越原栃山・21歳)
東白川村役場 勤務

仲間あつまれ



●夢
空を飛びたい☆
●好きな異性のタイプ
胸板の厚い人
●結婚について
今は考えてない…

●趣味は？
キーボードでの演奏とか、
絵を描くこと
●休日の過ごし方
本を読んでますかね
●得意なこと
絵(イラスト)を描くこと

※「のどかだし、時間の流れがゆったりしてるところが好きです」と村について話してくれる若者を紹介します。

戸籍の窓 (9月1日~9月30日)

●誕生おめでとうございます

神戸 ^{しゅんすけ} 駿輔 {正紀 (平)
美幸
今井 ^{りくや} 陸哉 {健二 (柏本)
久美

●いつまでもおしあわせに

{田口 房国 (陰地)
{安江 美果 (平)
{松岡 丈浩 (栃山)
{白川 佳世 (犬山市)

●おくやみ申し上げます

今井 保 74歳 (宮代)
古田 兼市 89歳 (宮代)
村雲 つた 80歳 (中通)

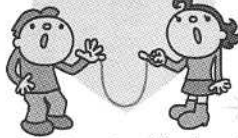


スタッフルームTONO

今月は、夏祭りや歌舞伎公演など、多くの村内イベントで音響の仕事をお願いしている“スタッフルームTONO”を紹介します。

「TONOの業種？イベントでの音響関係やったり、コンピューターの販売やパソコン教室の講師したり…一言でいうと『情報機器サービス』かな。嬉しいことに今秋は、村の行事や地域の祭りの音響を頼まれてるので、しばらくは音響関係が忙しくなりそうですね」と話されるのは事業主の桂川一喜さん。「都市部では当たり前の情報サービスが、郡部では得られない…これを改善したい！」と意気揚がるTONOさんでした。

2ショット



松岡春樹さん・美佳さん夫婦

(陰地)

「僕、照れや
すいんで…」
もこういう(人
前で話す)のダ
メなんです」と、緊張のため
か口ごもることもしばしば。
しかし、二人の気持ちは強く



今月は、八月二日に入籍さ
れた陰地の松岡春樹さん・美
佳さん夫婦を訪ねました。
「結婚への意
識？一緒にいる
うちに…なんと
なく(笑)」と
口を揃えて話さ
れるお二人は、
少々あがり症の
ようで、取材中
に「僕、照れや
すいんで…」
もこういう(人
前で話す)のダ
メなんです」と、緊張のため
か口ごもることもしばしば。
しかし、二人の気持ちは強く

い欲しいですね」と、新しい
家族の誕生を待ち望む松岡さ
ん夫婦でした。

「僕らの子ど
も？今、お腹の
中にいる子も合
わせて三人くら
い欲しいですね」と、新しい
家族の誕生を待ち望む松岡さ
ん夫婦でした。

「私も同じで
す」と、その様
子は仲睦まじく
：二人にとって
多くの言葉は必
要ないようです。

「私と同じで
す」と、その様
子は仲睦まじく
：二人にとって
多くの言葉は必
要ないようです。

通じ合っているようで、「お
互いの存在について？そう聞
かれると難しいけど、『一緒
に居て当たり前
な存在』かな」
「私も同じで
す」と、その様
子は仲睦まじく
：二人にとって
多くの言葉は必
要ないようです。

ちょっと、よって

ほんとアツナル



10月から、
病院の送迎バスが新しくなりました！

ステップ装備で
乗り降り楽ちゃん

今までの8人乗、10人乗のワゴン車2
台に替わり、9人乗リフト付きワゴン車
と10人乗ワゴン車の2台が新規導入され
ました。白地に水色の線+鮎の絵が特徴
で、その名も「わかあゆ1号、2号」と
いいます。また、村の各種事業でも運行
されますので、どうぞご利用ください。

詳しくは役場・保健福祉課(有5156)まで



リフト装備で
車イスでも安心

よい くーション

職業生活設計支援セミナー開催

日時／平成14年10月25日(金)

13時30分～16時

会場／みのかも文化の森

講演／「高齢社員による

企業の活性化をはかる方法」

対象／企業の人事・労務担当者

受講料／無料

問合せ／ハローワーク岐阜・高齢期雇

用就業支援コーナーTEL058-263-4577

休眠会社整理のお知らせ

全国の法務局では、本年10月から、5年以上登記のない株式会社について、商法406条ノ3の規定による休眠会社の整理作業を行っています。

本年10月1日の時点で最後の登記から5年を経過している株式会社は、12月2日(月)までに登記の申請または「まだ営業を廃止していない」旨の届出をしない限り、解散したものとみなされ、職権で解散の登記がされますので注意が必要です。

ご不明な点は、お近くの法務局までお問い合わせください。

《岐阜地方法務局美濃加茂支局：TEL 0574-25-2400》



『ともだちや』

内田麟太郎 著

キツネはともだちやさんをはじめのことをおもいつきました。いちじかんひやくえんでともだちになってあげるのです。ちょうちんをもって、のぼりをたてて「えー、ともだちやです」でも、ともだちってうれしいのかな？かえるのかな？

キツネとオオカミの『おれたち、ともだち』絵本は、ほかに「ともだちくるかな」があります。

リハビリだより

ドイツ世界選手権レポート(1)

身体に障害を持つ人々による自転車世界選手権が8月に行われ、これに日本代表監督として参加してきました。オリンピック、パラリンピックと同じく4年に1回行われ、世界のナンバーワンを決める大会です。98年アメリカコロラド、94年のベルギー大会は視覚障害者のタンデム2人乗りの選手として参加してきた経緯から選手の気持ちが理解でき、パラリンピックのコーチ免許、自転車競技連盟の審判、日本体育協会トレーナー資格、理学療法士を所持する方が日本に他にいないということで、私が監督として同行することに。宿舎はミュンヘンから2時間位離れた東白川と同じような田舎町の空軍の基地で食事は軍人さんと同じという環境の中、我が日本代表選手14名は、8月3日から12日までの大会期間中、競輪場でのタイムトライアルや一般市街地でのロードレースなどに出場し、世界の強豪と競うこととなりました。(次回に続く)



考えましょう！あなたのからだ

疲労からくる健康のこと、精神的な悩み、疲労保険のことなどお気軽にご相談ください。(相談無料・秘密厳守)

問合せ先：☎0120-603-114

(財) 労災年金福祉協会

岐阜労災年金相談室

岐阜市美園町4-7 ノノガキビル2階

TEL 058-262-5830

- 第八回 夏季スポーツ大会結果
- グラウンドゴルフ部門
- 期日／八月二十五日
- 場所／中学校運動場
- 参加人数／二十九名
- ▼男子の部 優勝／村雲茂
- 準優勝／安江巖 第三位／安江浩
- ▼女子の部 優勝／安江美也
- 準優勝／古田タクエ 第三位／有賀汎美
- ゲートボール部門
- 期日／八月二十五日
- 場所／総合運動場
- 参加チーム数／十三チーム
- ▼優勝／長寿会A 準優勝／明清会B 第三位／明清会A
- ソフトバレー部門
- 期日／八月二十五日

社協から

秋フェスタにて

福祉展開催

十一月十七日には、

秋フェスタが開催されます。今年も福祉器具・介護用品コーナー「福祉展」を開催します。

オムツ・杖などの身近なものから、介護に役立つ便利な商品をご紹介します。さらに、通常価格よりもお安くご提供できるよう計画しています。当日は、専門業者の方も参加される予定となっております。

ありがとうございました

御寄付 (9/30現在)

(敬称略)

【みつば保育園】

ぬり絵＝J Aみのかも東白川支店

【越原保育園】

ぬり絵＝J Aみのかも東白川支店

【東白川小学校】

石灰 5袋＝荻田正敏 (陰地)

えんぴつセット250組＝

J Aみのかも東白川支店

【東白川病院指定】

金10万円＝今井英信 (宮代)

【社会福祉事業指定】

金15万円＝桂川一喜 (陰地)

金7万5千700円＝

山田土建(株)従業員一同

【小中学校図書購入資金指定】

金6万円＝古田好夫 (久須見)

【社会福祉協議会】

清拭布＝加藤倭子 (上親田)

清拭布＝田口道江 (大明神)

タオル＝神戸佐津子 (平)

タオル類＝母子寡婦福祉会

タオル・清拭布＝匿名

古切手＝澤木紀代子 (平)

古切手＝安江美代 (黒渕)

古切手＝長尾知恵子 (大垣市)

古切手＝匿名

アレンジフラワー＝

可茂生花商業組合加盟店

金10万円＝加藤寿子 (栃山)

金10万円＝今井英信 (宮代)

金10万円＝古田晋作 (宮代)

金5万円＝松岡和男 (川辺町)

金1万円＝澤木きしの (平)

金1千600円＝つるだ庚申

第4回東白川村民ゴルフ大会

日時／11月2日(土) 8:14開始

会場／美濃白川ゴルフ倶楽部 (7:30集合)

会費／プレー代金10,000円 (食事含)

参加費4,000円 (賞品代など)

申込先／hananoki@kani.or.jp

障害者の雇用に関する法律の改正について

障害者雇用率の算出に用いる「除外率」は平成16年4月から廃止を目指し段階的に縮小されることとなりました。

また、障害者雇用率を達成していない企業に対し、厚生労働大臣が行う「障害者雇入れ計画の作成命令」の発出基準である実雇用率が0.9%から1.2%に改正されました。

岐阜労働局職業対策課

年金を受けている皆さんへ

年金を将来にわたって正しく受けていただくためには、届出をしていただかなければならないことがあります。また、届出を忘れると、年金の受け取りが遅れたり、年金を受け取りすぎて返していただく場合もありますので、家族の方も注意してください。

- 誕生月がきたとき (年金受給権者現況届)
- 氏名を変えたとき (年金受給権者氏名変更届)
- 住所や年金の受け取り先を変えるとき (年金受給権者住所・支払機関変更届)
- 年金証書をなくしたとき (年金証書再交付申請書)
- 2つ以上の年金を受け取る資格ができたとき (年金受給選択申出書)

など。詳しくは役場・住民課 (有2162) までお問い合わせください。

ソフトボール部門

期日／八月二十五日～九月一日

場所／総合運動場

参加チーム数／一般Ⅱ六チーム、壮年Ⅱ十一チーム

▼一般の部 優勝Ⅱ五葉 準優勝Ⅱ五加 第三位Ⅱ日向曲

坂、へボくない陰地

▼壮年の部 優勝Ⅱ五葉 B 準優勝Ⅱ辯天櫻 第三位Ⅱ小

谷、花の木

場所／小学校体育館

参加チーム数／七チーム

▼優勝Ⅱ華の木 準優勝Ⅱひまわり 第三位Ⅱ五葉



団結

笹俣依里さん
(日向)

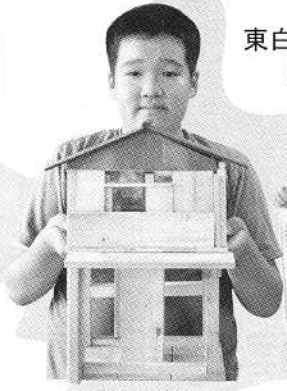
東白川中学校2年生
「ポスターを描こう!」



選挙の日

花作品展

東白川小学校
6年生



「貯金箱」
桂川雄太くん (柏本)



「カレンダー」
今井香保理さん (平)



高井里奈さん
(黒淵)

安江瑞さん
(日向)

越原保育園「楽しかったプール」



桂川優理くん
(陰地)



俳句



湯の町の小極並木白清ら
裏庭へ客の頭越え鬼やんま
灯の点り俄かに晴し秋の庭
草木に恵みの雨が降りそそぐ
向日葵も猛暑に疲れ苦笑
文月の夕暮寂し虫の声
季も近く原にまぶしき彼岸花
散歩道尾花の群に迎へられ
あけぼのの句友の幸を祈念する
恵み雨野菜畑に精を出す
快ち良き汗を流すや秋の風
稲刈りを終えて迎ぐ夕焼雲
橋一つ渡れば山の涼新た
月光に窓を開ければ虫の声
病む人に言葉選びて夜の秋
谷川の空にとびかう赤とんぼ
虫の音や秋を告げくる夕明り
この秋の足の早さや彼岸月
井戸水の音ね淋しくほそぼそと
暑き夏過ぎ去り見ればほんの間の
可れんなる秋の七草今少し
釣橋は過疎地の名残り今朝の秋
戦傷かたちをかえて疼く秋
柿喰ふて頑固一徹翁笑ふ
泣き虫のひこ孫も来て秋彼岸
花の道秋蝶滋原怪く飛ぶ
敬老の宅急便や赤りボン
※皆様の作品をお寄せください。次回原稿は十一月十五日までに
平 安江武子宛にお出しく下さい。

河田重喜
村雲みか子
安江蛙
村雲とみ子
安江すみ
安江武子
村雲ともこ
安江一滴水
田口秋映

人口の動き

— 9月末住民登録人口から —

世帯数	902世帯
人口	3,098人
転入	0人
転出	2人
出生	2人
死亡	3人

先月と比較して 3人減
昨年と比較して 22人減



▼今年も夏がすぎ秋の季節となりました▼秋は「実りの秋」という言葉があるように野菜、果物など収穫の季節でもあります▼昔は、野菜や果物は、その収穫の季節がなければ、私達の食べ物として食べられませんでした▼現在は、スーパーなどのお店で季節に関係なく商品として並んでおり、いつでも食べられる物となっています▼二十一世紀となつて今後もどんな科学の進歩などにより、食による季節感がなくなっていくように思います▼食べ物は生きるために大事なものです▼柿、栗などが味わえる実りの秋に感じました (M)